

電気自動車(EV)訪中 産業技術フォーラム

期間：2011年4月17日(日)～4月23日(土) (7日間)

急発進する中国市場のEVビジネスチャンスを探る！！

－ 参加者募集のご案内 －



企画主催： 一般社団法人 日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

<http://www.jef-site.or.jp/>

協力： 日中経済技術交流協会

取扱旅行社： 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

総合事務局： 株式会社アジア技術移転機構

参加のおすすめ

自動車大国への道を歩み出した中国は、エネルギー安全保障と環境問題の緩和のために電気自動車の導入・拡大を積極的に進めています。電気自動車を含めた新エネルギー自動車は、9月に国務院によって原則承認された戦略的新興産業の重点7分野の1つに選ばれました。

また、工業情報化部がまとめた「省エネ・新エネ自動車産業発展計画(2011~2020年)」もまもなく公表されるとみられています。同計画では、新エネ車を製造する基幹企業を3~5社、国際的な競争力を備えた動力電池企業を2~3社確立するとの考えも明らかにされています。

自動車生産台数、販売台数ともアメリカを抜いて世界1位になった中国の電気自動車市場はどうか。日本との協力の可能性も探ることを目的に「第14回上海国際自動車工業展覧会(Auto Shanghai 2011)」に合わせて編成しました。

電気自動車(EV)訪中産業技術フォーラムについて



団長・コーディネーター
李澤建氏

東京大学大学院経済学研究科
経営教育研究センター
ものづくり経営研究センター
特任助教・経済学博士

1979年中国天津市生まれ。2002年来日。

京都大学大学院経済学研究科修士課程(2006年)、博士課程(2009年)を修了し、2009年より現職。

2004年より、奇瑞、吉利、比亞迪(BYD)などの中国民族系自動車メーカーの製品開発、中国の電気自動車ビジネス、BRICsにおける新興市場戦略を中心に、中国、ロシア、インド、日本、韓国、タイ、ドイツ、スイス、スウェーデンにおいて、250カ所以上の取材調査

中国自動車市場の発展

中国の自動車市場は、中国政府の景気刺激策の効果もあって、昨年一年間に59%成長し、初めて米国を抜いて、世界一に躍り出ました。小排気量車の減税、下取り、あるいは農業用車への助成金の提供も含む政府の景気刺激政策が、功を奏し、自動車販売台数の大幅な増加を促しました。世界で最も成長している自動車市場を更に支援する為、中国政府は、先月、自動車産業に対する景気刺激策を、一年延長すると、発表しています。政府は、こうした自動車産業の成長を、長期に渡って支援すると公約しています。自動車産業コンサルティング会社のSinotrustは、今年も、年率15.2%で、成長を続け、販売台数も1513万台に及ぶ、と予測しています。

中国公安調査庁(The Ministry of Public Security)は、昨年末までに、中国の自動車運転免許人口は、総人口13億の約15%にあたる、2億人に達したと、報告しています。こうした事実からも、中国の自動車需要はこの先数年、増加を続けると思われる。

第14回上海国際自動車工業展覧会(Auto Shanghai 2011)は、展示者、参観者にとっての国際的なプラットフォームを提供する大規模で包括的な産業展示会です。Auto Shanghai 2011は、過去の成功と革新的なコンセプトそれに一流のサービスをベースに、輝かしい未来の自動車産業をリードする大手自動車メーカーが一同に会します。

Auto Shanghai 2011は、中国で開催される二大自動車産業展示会の一つとして、1985年以来、世界中から、多数の展示者、参観者、メディア関係者の参加を頂いております。

訪問先概要

1. 中国汽車工業協会 (北京)

中国の自動車生産企業をはじめ、部品サプライヤー、大学、研究所など関連機関を会員とする社団法人である。中国の自動車産業を代表する業界団体として、政策研究、情報提供、業界の要望を政府に反映するなど全体の発展を促進する活動に従事している。

2. 清華大学汽車研究所 (北京)

中国名門大学清華大学の自動車工学学部にも所属している研究所である。同学部は1932年設立された機械工学部の飛行機と自動車専攻にまでさかのぼり、中国の最も古い自動車工学の研究拠点として周知されている。同研究所は「863プロジェクト」の電気自動車の基礎研究の多くを担当している。

3. BYD (深圳)

1995年深圳に創業したバッテリーメーカーであり、現在世界初量産型プラグインハイブリッド車「F3DM」の発表で、一躍世間から注目されるようになっている。なお、同社は「E6」をはじめ、電気自動車の普及の急先鋒として脚光を浴び続けている。

4. 上海汽車 (上海)

中国屈指の国有自動車集団の一つとして、急速に存在感を増している。しかも、「4大」の中、唯一日系自動車メーカーとの提携がなく、GMとVWとの提携によって技術を吸収導入し、着実に電気自動車を含む自主開発の体制を構築している。

※ 訪問先は変更する場合がございますので予めご了承下さい。

スケジュール表

日程：2011年4月17日(日)～4月23日(土)

	日程	地名	交通手段	時間	スケジュール	宿泊ホテル	食事
1	4/17 (日)	東京(羽田)発 北京	CA182 専用バス	11:30 13:50 16:50	羽田空港国際線CAカウンター前集合 搭乗手続き／結団式 中国国際航空にて北京へ 北京国際空港着 ホテルへ移動	首都大飯店 (キャピタル ホテル)	昼 機内食 夕 ○
2	4/18 (月)	北京滞在	専用バス		・中国汽車工業協会 ・清華大学汽車研究所 ・日中電気自動車(EV)ジョイントフォーラム懇親会開催	首都大飯店 (キャピタル ホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
3	4/19 (火)	北京発 深圳着	専用バス CA1367 専用バス	9:30 12:35	移動	富臨大酒店 (フェリシティ ホテル)	朝 ホテル 昼 機内食 夕 ○
4	4/20 (水)	深圳発 上海(虹橋)着	専用バス CA3346 専用バス	午前 16:50 18:55	・BYD 移動	粵海酒店 (ガンドン ホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
5	4/21 (木)	上海滞在	専用バス		・第14回上海国際自動車工業展覧会 視察	粵海酒店 (ガンドン ホテル)	朝 ホテル 昼 × 夕 ○
6	4/22 (金)	上海滞在	専用バス		・上海汽車 ・懇親会開催	粵海酒店 (ガンドン ホテル)	朝 ホテル 昼 ○ 夕 ○
7	4/23 (土)	上海(浦東)発 成田着	専用バス CA929	9:55 13:50	中国国際航空にて帰国の途へ 東京国際空港(成田)到着後解散		朝 ホテル 昼 機内食

※訪問先、発着時間、交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承ください。
※飛行機はエコミークラスを利用します。

電気自動車（EV）訪中産業技術フォーラム 募集要項

- 調査期間 : 2011年4月17日(日)～4月23日(土) 7日間
- 団長・コーディネーター : 李 澤建 氏 (東京大学大学院経済学研究科 経営教育研究センター
ものづくり経営研究センター 特任助教)
- 通訳者(日⇄中) : ベテラン適任者
中国国内滞在中の全行程に同行致します
- 添乗員 : 全行程同行致します。
- 参加費 : ￥483,000 (消費税込)
※詳細は以下をご参照ください
- ホテル : 原則的に一人部屋
- 募集人員 : 20名(最低人数15名)
- 申込締切 : 2011年4月1日(金)
- 利用予定ホテル : 首都大飯店、富臨大酒店、粵海酒店
- 利用予定航空会社 : 中国国際航空(China Air)

参加費に含まれるもの

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税など
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、
一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 運営業務費(プログラム企画・運営費、団長・コーディネーター、
通訳、添乗員同行費)
- ・ 訪問先関係費、報告書作成費など事前研修費
(資料費、会場費、講師費など)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、
列車代、チップ代など)
- ・ 手荷物運搬料金(移動時の運搬料、ホテルのポータレージ代など)
- ・ 配布テキスト費用(印刷代)
- ・ 現地招待者懇親会費用
- ・ 第14回上海国際自動車工業展覧会入場料
- ・ 事前打合せ会費用及び出発当日結団式費用
- ・ 帰国報告会費用

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金など)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップなど)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日以降3日まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降 : 費用の50%
- ・ 実施日以降の不参加は、全額申し受けます。

一般社団法人 日本技術者連盟について

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	岡村 總吾	東京電機大学 名誉学長 前国際大学 理事長 工学博士
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 駒沢大学 グローバルメディアスタディーズ部 学部長 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園 総長 Ph. D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
監事	佐藤 正文	社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
	田代 空	特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会 会長 元財団法人 日本人事行政研究所 理事長
	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

目的

1. エンジニアリングと科学の分野における最新の発展と技術を紹介するマッチメイキングのためのWeb Knowledge Xpo(WKX)ウェブサイトの推進。
2. 教育および認定活動を通じた専門知識の提供。
3. エンジニアによるエンジニアのための就職斡旋および雇用機会の提供。
4. 会員、専門技術および多様性を他のアジアの国に拡大することによる、当法人の能力、影響力および価値の向上。
5. アジア諸国における他の関連組織との提携および会員登録を通じた当連盟の活動のサポート。

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。